

第2回 大宮駅西口交通結節点事業計画検討会 議事概要

■日 時 令和5年3月6日(月) 14:00~16:00

■場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館5階 501会議室

■出席者

【座長】一般財団法人 計量計画研究所 代表理事	岸井 隆幸
【委員】埼玉大学大学院理工学研究科 教授	久保田 尚
東京大学大学院工学系研究科 教授	羽藤 英二
東日本旅客鉄道(株) グループ経営戦略本部 財務・投資計画部門 投資調査・計画共創ユニットリーダー	島見 伸次
東日本旅客鉄道(株) 大宮支社 企画総務部 経営戦略ユニットリーダー	伊藤 滋
一般社団法人 埼玉県バス協会 専務理事	関根 肇
埼玉県 警察本部 交通部長	丹下 浩之 (代理: 金田 敦之)
埼玉県 県土整備部長	北田 健夫 (代理: 伊藤 正経)
埼玉県 都市整備部長	村田 暁俊 (代理: 宮田 敏之)
さいたま市 副市長	小川 博之
さいたま市 都市局長	篠崎 靖夫
さいたま市 建設局長	吉岡 哲幸
国土交通省 関東地方整備局 道路部長	松本 健
国土交通省 関東地方整備局 建政部長	家田 健一郎
国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所長	阿部 俊彦

(※順不同、敬称略)

【事務局】さいたま市 都市局 都市計画部 交通政策課
国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 計画課

■議事

- 「大宮駅周辺の歴史的な変遷」「再開発事業等(近年完成・事業中)の紹介」「将来まちづくり計画(GCS等)の紹介」「大宮駅周辺における交通結節点の考え方」「主な論点と今後の検討の進め方」について、事務局より説明され、引き続き具体的内容を議論し、調整していくことを確認。

<委員からの主な意見>

- 民間事業者が取り組んでいる再開発事業と、国道や高速道路等のネットワークの整備について、トータルな計画論が必要ではないか。
- 核都市広域幹線道路により、比較的大きな都市が結ばれる。それらの大きな都市の各鉄道駅と核都市広域連絡道路との結節が重要なテーマと考えられ、大宮がその最初の都市となる。
- 大宮駅西口周辺とさいたま新都心線の結節を考えると、現段階から、交通結節点の整備を勘案した道路整備を検討するなど、将来を見据えたインフラ側の準備もあって良いのではないか。また利用者が滞在しやすい道路空間づくりが必要ではないか。
- バスタと合わせて周辺の街づくりが必要である。そのためには街側でも仕掛けづくりを用意する必要があるのではないか。
- 大宮駅周辺の高速バスの状況として実際の利用者データ（高速バス利用前後の交通手段や移動目的、出発地、目的地など）を分析し、利用者ニーズに合った具体的な検討が必要ではないか。
- 交通結節点や導入するモビリティを検討するにあたり、カーボンニュートラルの考えを取り入れるべきではないか。大宮周辺のエリア内を全てグリーンでカーボンニュートラルなモビリティというコンセプトになれば、国際的にも注目を集める。
- 交通結節点を中心に大宮とさいたま新都心を結ぶような情報インフラを作って頂きたい。ヒトやモノの動きを捉えることは、地域の中で様々な計画を立てたり、出店を検討する際の重要な基盤となる。
- 首都直下地震等を想定して、東北からの防災支援の拠点としての機能が必要なのではないか。大宮を拠点として、圏央道や核都市広域連絡道路を使って支援に向かうような動き方も出てくると思われる。

以上